

幼稚園懷舊談話會の日に

新庄よしこ

昭和三年十一月二十九日 女子高等師範學校附屬幼稚園遊戯室で、幼稚園懷舊談話會が催されました。時、恰も御大典の盛儀滞りなく終り上下舉つてめでたさによるこびあへるよき秋に、又女子高等師範學校創立の意味深き紀念日の當日にこの集りのあつたといふのは、何といふうれしい事でございます。此の日おいで下さいましたのは、豊田英雄子先生、小西信八先生、下田田鶴子先生、大久保介壽先生、和田實先生、雨森釧子先生、氏原銀子先生、膳真規子先生、其の他の方々でそのお一方だけにお目にかゝるさへ嬉しいきはみてございますのに、皆様がお揃ひ下されその上當時の幼稚園の事どもを親しくお話し下さいました事は、同じ道に進まうとして居る私共にとつて何といふ得がたい好機、千載の一遇と申しても過言ではないと信じます。しかも最もおまち申して居りました豊田先生は水戸より態々まげて御出席下さいましたし、又小西先生は御風邪の中をおしてお越し下さいました事を一層ありがたいと存じますと同時に休日でもないこの日に、熱心な各幼稚園の方々が澤山おいで下さいましたことも厚くお

禮を申あげます。

幼稚園が如何にして創められたかといふ當時の消息を豊田小西下田の先生方より委しく承りました。氏原先生は當時の攝理中村正直先生直筆の半折をお持ち下され、忙裏求閑閑以仙動中有靜靜如山、君看行雲流水妙只在閑忙動靜間と、この詩を氏原先生がまことに凜然としたお聲で朗詠して下さいました時には思はず中村先生の御風貌をまのあたり拜した様の感に打たれたのでございます。つゞいて氏原先生が笏拍子シヤウヒツランをうちになるに合せて、下田、雨森氏原膳の先生方が「家鳩イヘトビ」といふそのころの歌をおきかせて下さいました時はこの一堂に會した人々の心と心との打ちとけ合つた聲がこゝに流れ出たかと思はれる程なごやかな氣が漲りわたつたのでございます。

さてかうしてお話を承つて居りますと今迄お年よりなど、思ひもし申上げもして居た諸先生方がどうしてどうして御態度なり、お聲なりのいかにも生氣に満ち／＼ていらつしやるのを拜見して、その御年齢をわが身に比べてわれから老いゆくことのちろかさ、又始めて考へついたと思つて今迄して居た事がそれはもう疾うにこの先生方の手によつてなされ、又深い研究もつまれてあつた事を知る恥づかしさとあれこれ思へば、今日お集り下さいました先生方が、同じ道をあとより歩みゆくものゝ爲に最も力強い無限の光をなげかけて下さいました事と深く感じるのでございます。

次號の本誌上に今日お話し下さいました事どもを掲載いたします故どうぞ御らん下さいませ。

今日の限りなきよろこびを思ひのまゝにあらはし得ぬもどかしさを感じつゝ。(二十九日夜記す)